

小鹿の森公園「県の鳥サンコウチョウを見よう！」

高山達子



三宅さんの説明を聞く参加者



サンコウチョウを探す参加者

6月2日小鹿の森公園での、自然観察会に参加しました。今回の観察会は「県の鳥サンコウチョウを見よう！」です。9時に小鹿の森公園の駐車場に集合。大人15名子供2名の計17名での観察会です。

まずは、道に沿って、サンコウチョウが良く見られるポイントに行ってみます。川が流れている所に横枝が伸びていて、サンコウチョウがそこに止まれば絶好の撮影ポイントとなるようで、高そうなカメラを持った人たちが待ちかまえています。しばらく、その近くで声が聴こえないか耳を澄ませます。ウグイスやコジュケイの音がよく聞こえます。ふだん、鳥の声をこんなに真剣に聴くことがないので、新鮮な感覚です。耳を澄ますと、鳥の声以外にもいろいろな音が聞こえてきて、なかなか楽しい時間です。でも残念ながらサンコウチョウの声は聴こえませんでした。

この時日本三鳴鳥（ウグイス・オオルリ・コマドリ）の話を伺いました。ウグイスは特徴的な鳴き声でここでも良く聴こえてきます。枝の高いところで高らかにさえずっているのがオオルリとの事。綺麗な声です。残りの1種コマドリはもう少し標高の高いところにいるので、残念ながら小鹿の森では声を聴くことはできないそうです。

ということで、公園の広場を目指し移動です。途中、声の出る機械でサンコウチョウの声を流してみると、縄張り意識の高いサンコウチョウ

が鳴き返してきました。独特な鳴き声で「月日星（ツキヒホシ）、ホイホイホイ」です。この月・日・星が3つの光、すなわちサンコウで名前の由来となっています。

でも、あまり声を流してしまうと、鳥が混乱してしまうので、それ以降は声を流すのをやめ、声も聴くことが出来ませんでした。

途中、モリアオガエルの卵をみました。かなり高い木の枝に産みつけられていました。あんなに、小さなオタマジャクシが、あの高さから水に落ちてよく無事なものだと感心してしまいます。うまく、水のあるところに落ちられるといいけど、水が減っていて、心配でした。

広場の所で、シオヤアブが白い泡を抱えてじっとしています。良く観察してみると、お尻をその白い泡の中に時々差し込んでいます。どうやら産卵しているようです。

いくつかのポイントで、望遠鏡で鳥を見せていただきました。遠慮していると途中で飛び立ってしまっただけで見られず残念な時もあります。

最初に行ったサンコウチョウの見られるポイントにもう一度いきました。残念ながらサンコウチョウは見られませんでした。オオルリを見る事が出来ました。一度見てみたい鳥の1つだったので、望遠鏡で鮮やかな藍色を見ることが出来た時にはとても嬉しかったです。

2時間ちょっとの観察会でしたが、11科13種の鳥類を確認することができました。